

会 議 記 録

名 称	第 2 回 佐賀空港の自衛隊使用等に係る環境保全と補償に関する協議会
議 題	1 陸上自衛隊佐賀駐屯地司令の協議会への参加について 2 佐賀空港の自衛隊使用に係る現在の状況について
開 催 日 時	令和 7 年 1 0 月 9 日（木） 1 3 : 2 0 ~ 1 3 : 5 0
開 催 場 所	（所在地）佐賀市西与賀町大字厘外821-4 （会場名）佐賀県水産会館 3 階 中会議室
出 席 者	〔漁 協〕 佐賀県有明海漁業協同組合 西久保敏組合長 同 オスプレイ等検討委員会 中島浩徳副会長 〔防衛省〕 九州防衛局 池田学局次長 佐賀駐屯地 青山佳史司令 〔佐賀市〕 佐賀市政策推進部 星下努部長 〔佐賀県〕 政策部 前田直紀部長 同 駐屯地調整室 山崎和也室長
【会議結果】 （協議） 協議事項 1 : 陸上自衛隊佐賀駐屯地司令の協議会への参加について ・佐賀駐屯地司令の協議会への参加について、出席者から意見等はなく、了承された。 ・佐賀駐屯地司令から、7 月 9 日の駐屯地開設後、地域との信頼関係を築きながら地域発展に貢献していく旨の挨拶があった。 協議事項 2 : 佐賀空港の自衛隊使用に係る現在の状況について ・佐賀県からは、今年 4 月分より協議会関係者に対し、毎月水質データを共有していること、騒音調査を空港周辺の各地点で実施していること、海水混合施設の運用が 1 0 月 1 日から開始されたことなどを報告するとともに、防衛省との連絡調整を密に行って排水対策の状況を注視していくこと、環境保全に関して庁内関係課とも連携・情報共有しながら、航空機騒音の測定や排水の水質確認をしっかりと行っていくことを説明。 ・九州防衛局からは、海水混合の実施期間（1 0 月 1 日～翌 3 月 3 1 日）及び海水混合後の比重の排水基準（国造 1 8 以上、平和 1 4 以上）を説明するとともに、1 0 月 8 日に発生した内水送水設備の不具合による一部冠水事案を報告。引き続き原因を調査し、適切に管理していく旨説明。 ・佐賀駐屯地からは、7 月の開設以降、段階的に訓練を実施し、9 月 2 9 日から夜間訓練を開始したことを説明。現時点で佐賀市内の方からの騒音などの苦情はなく、地域からの研修希望や応援の声が多い旨を報告。 ・佐賀市からは、今年 6 月と 9 月に駐屯地周辺 6 校区の自治会長会に対して説明等を実施したこと、騒音等に関する苦情は現時点で一切寄せられていないこと、佐賀市主催の協議会を 7 月に開催し、今年度中には生活環境・漁業・農業の 3 部会を開催する予定であることを報告。 ・有明海漁協からは、もうすぐノリ採苗も始まるため、なお一層の緊張感を持って安全管理に努めてほしいということ、立派な海水混合施設を整備いただき感謝していること、排水管理については十分協議しながら対応していただきたい旨の意見が出された。また、海水混合施設の運用については、1 1 月の種付け以降、今回のようなトラブルがないよう求める意見が出された。	

(意見交換)

- ・佐賀駐屯地から、地域との交流や相互理解を深めるため、地域行事等の年間スケジュールの共有を依頼し、地域の発展のために活動をしたい旨述べられた。
- ・漁協から、クリーンアップ活動に佐賀駐屯地隊員が積極的に参加したことへの感謝が述べられたほか、実際の漁場では騒音をほとんど感じないとの意見も紹介された。
- ・佐賀市からは、騒音に関する苦情は確認されていないが、市民の関心が高いものでもあるため、県の騒音測定結果については公表されるタイミングで情報提供いただきたい旨の意見が出された。
- ・九州防衛局から、安全第一で訓練を実施すること、また引き続き緊張感を持って運用していく旨の発言があった。
- ・佐賀県からは、ノリ漁期に向けて最大限の緊張感を持ち、海水混合施設がきちんと漁業者の不安が払拭されるような形で運用するよう防衛省に要請。県としても引き続き運用状況を注視し、必要に応じて関係者間で連絡・調整を行う旨述べた。

(その他)

- ・本協議会は年1回程度の開催を予定。次回は、ノリ漁期後に関係者で開催時期を調整し、決定する予定。
- ・緊急時や運用上の問題発生時には、整備済みの連絡網を活用して随時連絡・調整を行うことを確認。

(以 上)